平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

会 社 名 GMOクリック証券株式会社

U R L https://www.click-sec.com

代 表 者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高島 秀行

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 兵頭 一摩 (TEL) 03(6221)0203

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年9月30日)

1.十成24年3月朔第2四十朔の建和朱棣(十成23年4月1日~十成23年9月30日) (1)連結経堂市結(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

(1) 连帕性百久恨(宋时)										
	営業	収益	純営美	業収益	営業	利益	経常	利益	四半期	純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	7, 628	△11.7	7, 270	△12.8	2, 955	12. 7	2, 959	12. 8	1, 665	18. 8
23年3月期第2四半期	8, 634	13.8	8, 337	15. 4	2, 623	△23. 9	2, 623	△23. 9	1, 402	△30. 1

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,645百万円(17.3%) 23年3月期第2四半期1,402百万円(一)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	92. 50	_
23年3月期第2四半期	92. 21	_

(2) 連結財政状態

	総	資 産	純	資 産	<u> </u>	自己資本比率
		百万	m		百万円	%
24年3月期第2四半期		145, 27	4		13, 706	9. 4
23年3月期		131, 05	9		12, 923	9. 9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 13,706百万円 23年3月期 12,923百万円

2. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 :無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 :無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)24年3月期2Q 18,010,400株 23年3月期 18,010,400株

② 期末自己株式数 24年3月期2Q 一株 23年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 24年3月期2Q 18,010,400株 23年3月期2Q 15,210,400株

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、甚大な被害をもたらした東日本大震災や、その後の全国的な電力不足問題により、企業の生産活動や個人消費が低下し、国内景気が大きく下振れしたものの、その後は、緩やかな持ち直しの兆しが見られ、国内景気は震災後の落ち込みから脱しつつあります。しかしながら、世界的な金融危機問題を背景に、長引く円高や資源価格の高騰など、依然として景気の下振れリスクは顕在しており、先行きの不透明な状況となっております。

株式市場では、期初は、日経平均株価は9,700円台で取引が開始され、期中までは、株価は9,000円台半ば付近でのボックス相場で推移し、8月以降は、米国のデフォルト懸念をはじめ、世界的な金融危機問題の拡大により、世界経済の減退懸念が高まったことで、株価は下落傾向で推移し、当第2四半期連結累計期間末における終値は8,700円29銭となりました。

外国為替市場では、期初は1ドル=83円台で取引が開始され、当初は円売りの動きが強まったことで、1ドル=85円台まで下落しましたが、以降は、欧米諸国の財政問題等の影響により、再び円高局面を迎え、1ドル=77円台で当第2四半期連結累計期間末を迎えました。

このような状況の中、当社は、「信用取引手数料無料キャンペーン」等の各種キャンペーンの実施や、店頭外国為替証拠金取引「FXネオ」の取引スプレッドの縮小、外為OP取引専用のiPhoneアプリをはじめとする各種取引ツールの提供開始、および取引環境の継続的な改善を行うことで、取引コストを含む顧客利便性の向上を図ってまいりました。

これらの諸種の施策により、当第2四半期連結累計期間末における当社の証券取引口座は118,884 口座(平成23年3月末106,770口座)、外国為替証拠金取引口座は187,387口座(平成23年3月末 161,196口座)となり、顧客基盤は更に拡大しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は7,628百万円(前年同期比11.7%減)、純営業収益は7,270百万円(同12.8%減)、営業利益は2,955百万円(同12.7%増)、経常利益は2,959百万円(同12.8%増)、四半期純利益は1,665百万円(同18.8%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における、主な収益および費用の状況は次のとおりです。

(受入手数料)

当第2四半期連結累計期間における受入手数料は1,491百万円(前年同期比27.8%増)となりました。 主な内容は、株式取引・株価指数先物およびオプション取引・取引所為替証拠金取引などによる委 託手数料、ならびに店頭外国為替証拠金取引におけるロスカット手数料などのその他受入手数料であ ります。

(トレーディング損益)

当第2四半期連結累計期間におけるトレーディング損益は5,475百万円(前年同期比21.6%減)となりました。

主な内容は、外国為替証拠金取引における取引損益などのその他トレーディング損益であります。

(販売費及び一般管理費)

当第2四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は4,314百万円(前年同期比24.5%減)となりました。

主な内容は、委託取引にかかる取引所等への支払手数料や、顧客獲得や認知度向上のための広告宣伝費などから構成される取引関係費であります。

(特別利益、特別損失)

特別損失の主な内容は、法令上の要請に基づく金融商品取引責任準備金繰入れおよび社名変更に関連して生じた費用の計上となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間末における資産合計は145,274百万円(前期末比14,214百万円の増加)、 負債合計は131,567百万円(同13,431百万円の増加)、純資産合計は13,706百万円(同783百万円の増加)となりました。

当第2四半期連結累計期間末における、各項目の状況は次のとおりです。

(流動資産)

当第2四半期連結累計期間末における流動資産は142,982百万円(前期末比14,248百万円の増加)となりました。これは、主に手元流動性の拡大に伴い、現金及び預金が5,906百万円(同1,571百万円の増加)となったこと、顧客資産の増加に伴い、短期差入保証金が22,134百万円(同5,090百万円の増加)となったこと、信用取引の拡大により信用取引資産が29,092百万円(同1,108百万円の増加)となったことによります。

(固定資産)

当第2四半期連結累計期間末における固定資産は2,291百万円(前期末比33百万円の減少)となりました。これは、主に器具備品が377百万円(同31百万円の減少)となったこと、リース資産が88百万円(同22百万円の減少)となったこと、のれんが104百万円(同24百万円の減少)となったこと、長期前払費用が118百万円(同26百万円の減少)となったこと、繰延税金資産が512百万円(同84百万円の増加)となったことによります。

(流動負債)

当第2四半期連結累計期間末における流動負債は130,597百万円(前期末比13,352百万円の増加)となりました。これは、主に顧客資産の増加により受入保証金が95,009百万円(同19,980百万円の増加)となったこと、信用取引における自己融資により信用取引負債が21,453百万円(同4,543百万円の減少)となったことによります。

(固定負債)

当第2四半期連結累計期間末における固定負債は361百万円(前期末比23百万円の減少)となりました。これは、主にリース債務が45百万円(同23百万円の減少)となったことによります。

(特別法上の準備金)

当第2四半期連結累計期間末における特別法上の準備金は608百万円(前期末比102百万円の増加)となりました。これは、株式取引などの増加により所要準備額が増加したことによります。

(純資産)

当第2四半期連結累計期間末における純資産は13,706百万円(前期末比783百万円の増加)となりました。これは、四半期純利益の計上と配当金の支払いにより利益剰余金が6,157百万円(同803百万円の増加)となったことによります。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部	(1///=== 1 = // == 1.7	(1794== 1 = 54 = = 1.7)
流動資産		
現金及び預金	4, 335	5, 906
預託金	72, 033	72, 029
トレーディング商品	321	298
約定見返勘定	0	8
信用取引資産	27, 984	29, 092
立替金	354	232
短期差入保証金	17, 043	22, 134
支払差金勘定	4, 968	12, 089
前払費用	237	241
未収入金	1, 289	660
未収収益	121	163
繰延税金資産	170	157
その他	132	198
貸倒引当金	△256	$\triangle 229$
流動資産合計	128, 734	142, 982
固定資産		
有形固定資産		
建物	125	115
器具備品	409	377
リース資産	111	88
有形固定資産合計	646	582
無形固定資産		
のれん	128	104
商標権	0	0
ソフトウエア	821	803
ソフトウエア仮勘定	31	42
無形固定資産合計	981	949
投資その他の資産		
投資有価証券	7	10
出資金	1	1
長期差入保証金	114	115
破産更生債権等	46	94
長期前払費用	144	118
繰延税金資産	428	512
その他	1	1
貸倒引当金	$\triangle 46$	$\triangle 94$
投資その他の資産合計	696	759
固定資産合計	2, 324	2, 291
資産合計	131, 059	145, 274

	(単位・日ガウ)
前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
(+),,25+ 0 / 101 H /	(+)X20+3/100 H/
4	13
25, 996	21, 453
6, 263	6,044
75, 028	95, 009
	178
5, 896	6, 336
44	45
0	1
1, 179	373
602	581
891	559
142	_
105	_
117, 244	130, 597
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
71	48
289	289
22	22
	361
506	608
	608
	131, 567
	101,000
4, 346	4, 346
	3, 223
	6, 157
-	13, 727
	10,12.
_	$\triangle 20$
	
19 993	13, 706
	145, 274
151, 059	140, 214
	(平成23年3月31日) 4 25,996 6,263 75,028 1,089 5,896 44 0 1,179 602 891 142 105 117,244

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

·	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日	(単位:百万円) 当第2四半期連結累計期間
	(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業収益		
受入手数料	1, 166	1, 491
委託手数料	597	1, 277
その他受入手数料	569	214
トレーディング損益	6, 984	5, 475
金融収益	478	653
その他の営業収益	5	7
営業収益合計	8, 634	7, 628
金融費用	297	357
純営業収益	8, 337	7, 270
販売費及び一般管理費		
取引関係費	3, 732	2, 205
人件費	482	540
不動産関係費	528	496
事務費	593	631
減価償却費	268	280
租税公課	74	101
貸倒引当金繰入額	6	19
のれん償却額	4	9
その他	21	29
販売費及び一般管理費合計	5, 714	4, 314
営業利益	2, 623	2, 955
営業外収益	0	6
営業外費用	0	2
経常利益	2, 623	2, 959
特別利益	0	4
特別損失		
金融商品取引責任準備金繰入れ	67	102
投資有価証券評価損	57	2
事務所移転費用	16	_
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3	_
その他	0	16
特別損失合計	144	121
税金等調整前四半期純利益	2, 478	2,842
法人税、住民税及び事業税	1, 055	1, 248
法人税等調整額	20	△72
法人税等合計	1,076	1, 176
少数株主損益調整前四半期純利益	1,402	1,665
四半期純利益	1, 402	1,665
[2] 〒 791 까만가기	1, 402	1,000

四半期連結包括利益計算書 第2四半期連結累計期間

(単	枌	:	百	F	Ш,	١

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	
	(自 平成22年4月1日	(自 平成23年4月1日	
	至 平成22年9月30日)	至 平成23年9月30日)	
少数株主損益調整前四半期純利益	1, 402	1,665	
その他の包括利益			
為替換算調整勘定	_	$\triangle 20$	
その他の包括利益合計		△20	
包括利益	1, 402	1, 645	
(内訳)			
親会社株主に係る包括利益	1, 402	1, 645	

- (3) 継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 該当事項はありません。